

変化を読み取り、時代の半歩先へ

代表取締役社長 今村 善信氏



大電産業

福井市春山1-6-15

電設資材分野では「建設関連資材の価格高騰や人材難の影響で、投資のタイミングが読めなくなっている」中、FA分野では「半導体関連商品の供給不足はまだまだ続いており、15カ月待ちの商品もあれば、聞いていた納期よりも早く入荷してしまうこともある」と、当面は予測不能な事業環境が続く見通しだ。

そのような中において新たな試みとして始めたのが、「ソリューション展示会」の開催だ。2年前の協働ロボットに引き続き、昨年もIoT関連

設備と産業用ロボットのデモ機を導入したが、「お客様にその事実をお伝えする工夫が足りず、当社の技術力をPRしきれていなかった」。今回の展示会では、「文字を読んだり画像を見たりではなく、実体験をしていただいたことで具体的な案件につながることをできた。このような機会を増やしていきたい」と手応えを感じている。

社内においては、引き続きコミュニケーションを重視。女性や若手の登用を進める中で、ボトムアップで意見や提案が出

やすい雰囲気づくりに努めている。「多様性を重んじ、私にはない感性を取り入れていくことで、よりしあわせに働き続けられる会社へと進化していきたい」と話す。

「カーボンニュートラルへの対応や春からの電気料金の急騰は社会全体の課題であり、当社が事業領域とする電気・通信・制御の商品と技術でお客様に、ひいては社会に貢献できる分野。需要はさらに高まる」とし、「変化を読み取り、時代の半歩先を進むことで、より良い“ぐら”づくりをサポーターさせていただくことにまい進していきたい」と先を見据える。